

## 2015年度グッドデザイン賞 「JAHBnet(ジャーブネット)」はBEST100に選出 「AQレジデンス」がデザイン、ビジネスモデルでW受賞！



**GOOD DESIGN  
AWARD 2015**

木造注文住宅を手がける株式会社アキュラホーム（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：宮沢俊哉）と全国工務店ネットワーク「JAHBnet（ジャーブネット）」（主宰：宮沢俊哉）は、「2015年度グッドデザイン賞」（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）において「JAHBnet（ジャーブネット） 全国工務店の相互支援ネットワーク」、「AQレジデンス 瀬田モデル」、「AQレジデンス ニーズを充足する選択的住宅建築」の3作品が受賞いたしました。これにより受賞は4年連続、計14作品となりました。

今回、受賞した1つ目の作品である「JAHBnet（ジャーブネット）」は、当社が主宰する全国250社の工務店が集まる相互支援ネットワーク組織です。工務店が持つ課題に着目し、技術力・提案力の不足、根拠薄弱な価格設定など、ノウハウをシステム化して公開。さらに、地域ごとの特性を共有するなど、相互にコミュニケーションが取れる仕組みとして「JAHBnet（ジャーブネット）」を設立しました。下請け構造やロイヤリティが発生するフランチャイズチェーンではなく、工務店がそれぞれのノウハウを共有することによって地域工務店全体のクオリティ向上を達成するために発足した組織である点と、発足から現在まで17年間の活動実績が評価されました。本作品は、2015年度グッドデザイン賞受賞対象の中でも、審査委員会より特に高い評価を得た100件に与えられる「グッドデザイン・ベスト100」に選出。明日を切り拓く力をもつ、未来を示唆するデザインとして認定されました。

2つ目の受賞作品は、今年4月より発売開始した当社の高価格帯住宅の新ブランド「AQレジデンス」のモデルハウス「AQレジデンス 瀬田モデル」です。「AQレジデンス」は、日本の伝統的な知恵と最先端の技術、そして各界を代表する匠たちのプロフェッショナルな知恵を提案し、その技術によって建築されている住まいです。本モデルハウスは、経年美化の概念を取り入れており、年月を経て美しく古びることで住み手の愛着を得るというアイデアが評価されました。

最後に、3つ目の受賞作品は「AQレジデンス ニーズを充足する選択的住宅建築」です。建築家・匠職人などを適宜コーディネートするビジネスモデルです。零細化し後継者が不足する建築家や匠職人へ継続的に仕事の間を提供し、技術需要を高めることで技術伝承のきっかけとなり、建築業界におけるビジネスの安定と地位向上に寄与します。

<本件について報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越・西口 Email: [aqura\\_pr@aqura.co.jp](mailto:aqura_pr@aqura.co.jp)

住所：東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F TEL:03-6302-5010(直通) FAX:03-5909-5570

●写真データは右記よりダウンロードすることができます。 <http://www.aqura.co.jp/news.html>

— 3つの受賞作品概要 —

1. 「JAHBnet (ジャープネット) 全国工務店の相互支援ネットワーク」

受賞カテゴリー「ビジネスモデル」

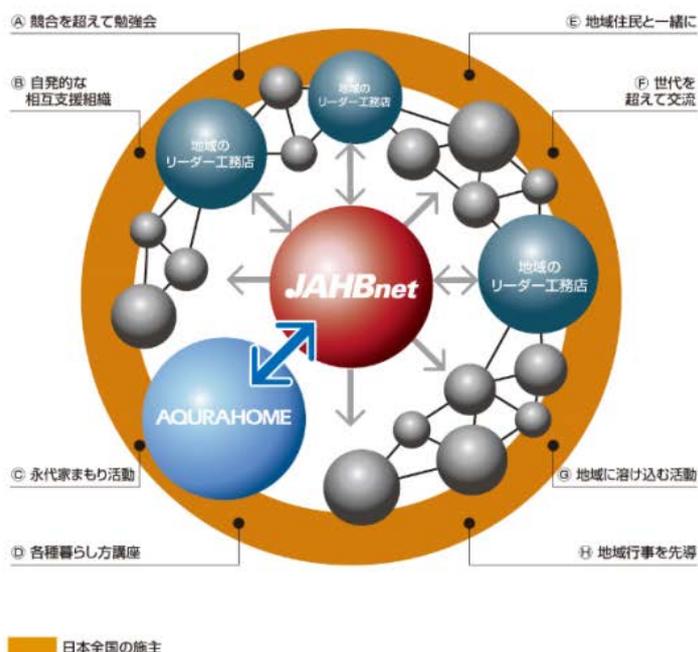


※審査委員会より特に高い評価を得た「グッドデザイン・ベスト 100」に選出。

「JAHBnet (ジャープネット)」とは、1998年に発足した全国250社の工務店による相互支援ネットワークです。アキュラホームが1994年に独自の住宅建設合理化ノウハウを体系化した「アキュラシステム」※1を開発し、これまでに約2700社の全国の工務店に導入されると共に、その仕組みを基盤に設立しました。工務店の長所である地域の気候風土・文化・人を熟知した家づくりを最大限活かしつつ、旧態依然な建築技術や提案力の欠如などの問題点を克服するため活動しています。“永代住み継ぐ住まいを提供して永代家守りを行い、その技を伝承していく”ことが重要と考え、企業の仕組みや人材を育成する「永代ビルダー塾」※1を立ち上げたり、「JAHBnet (ジャープネット)」から生まれた地域のリーダー工務店を核に競合の枠や業界の縦割りの枠を超えた相互支援の仕組みである「リーディングプロジェクト」※1など、さまざまな活動に取り組んでいます。

※1 過去にグッドデザイン賞を受賞した作品となります。

※1 過去にグッドデザイン賞を受賞した作品となります。



<ジャープネットの仕組み>

## 2. 「AQ レジデンス 瀬田モデル」

### 受賞カテゴリー「住宅・住空間」

「AQ レジデンス 瀬田モデル」は「都市に暮らす夫婦が住みごたえを追及し住みこなしていく住まい」を提案しております。伝統的な技術や材料・職人の手技にこだわり左官職人が外壁や内壁を現代デザインに仕上げ、庭師は季節の移ろいを一幅の絵として室内に誘導しています。これら日本独自の機能・自然・伝統美を兼ね備えた技術が建物に品格を与え、住まいへの愛着・永住意欲を掻き立てます。また、住まいづくりやメンテナンスに関わりを持つことで住まいへの関心度が高くなり、住みごたえを感じ、経験を振り返って住みこなしを実感していける住まいとなっています。

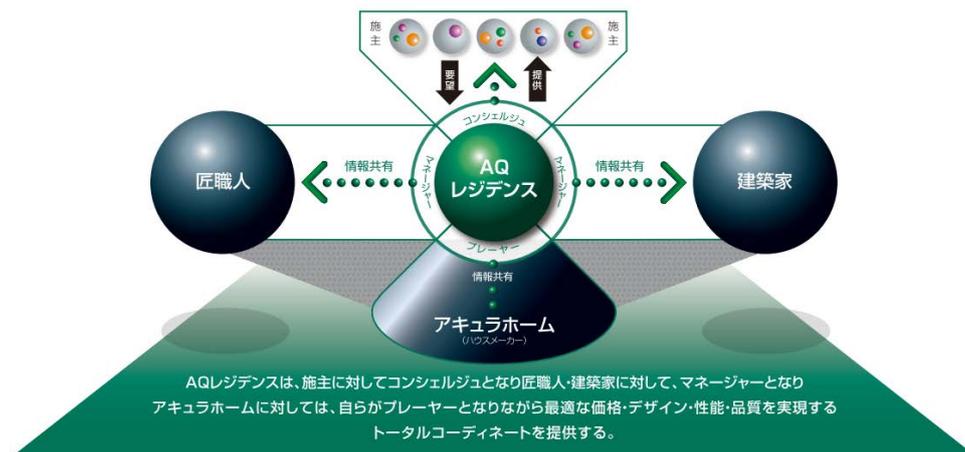


<AQ レジデンス 瀬田モデル>

## 3. 「AQ レジデンス ニーズを充足する選択的住宅建築」

### 受賞カテゴリー「ビジネスモデル」

アキュラホームが展開する高価格帯住宅ブランド「AQ レジデンス」では、施主のニーズを選択的に決定するフローを採用したビジネスモデルを採用しています。施主にとって家づくりはさまざまな困難を伴いますが、「AQ レジデンス」が多数の建築家・匠職人と契約連携し、建築全般の窓口を担当することで、施主の相談段階から建築家・匠職人を交えて4者で住まいづくりを計画・実現していきます。その一方で、工務店ノウハウにより建築費用を3割程度抑制し、施工管理・メンテナンス・保証等を行うメリットを提供しています。零細化し後継者が不足する建築家や匠職人へ継続的に仕事の場を提供し、技術需要を高めることで技術伝承のきっかけとなり、建築業界におけるビジネスの安定と地位向上に寄与します。



<AQ レジデンスのビジネスモデル>

## グッドデザイン賞受賞実績

- 2014年： 「住みごちのいい家～暮らしを豊かにするソリューション～」  
生活者の価値を最大化する商品開発システム  
「顧客と育つナレッジネットワークー永代ビルダー塾ー」  
約 320 社の工務店の活動をネットワーク化
- 2013年： 「リーディングプロジェクト」 顧客を守るセーフティーネット  
「リリーフ住宅」 未来の住宅価値創造
- 2012年： 「木望の未来プロジェクト」 工務店による CSR 活動  
「木和美(きわみ)」【LCCM】 地域に適合した先進的エコ住宅を建築可能にするシステム
- 2010年： 「アキュラシステム」  
地域工務店による家づくりを適正価格で実現する工務店経営支援システム
- 2008年： 「オブティス・サスティナブル」  
新築住宅における価値持続の仕組みと暮らし方をサポートする様々なサービスメニューの構築  
「JAHBnet・リノベーションデザインプロジェクト」  
地域工務店と住まい手、職人との新たな連携によって既存住宅の価値を再創造する仕組み
- 2006年： 「ガラスウォール(耐力壁)」 大空間・大開口ニーズに対応できる、光が通り抜ける耐力壁
- 2005年： 「匠階段」 伝統工法の木組みの技術を再現して木だけで組まれた階段



**GOOD DESIGN  
AWARD 2015**

グッドデザイン賞は、1957年にスタートした日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。日本の産業や生活文化を向上させる運動として展開されて国内外の多くの企業や団体が参加しています。グッドデザイン賞公式WEBサイト：<http://www.g-mark.org/>